

ソラシドエアからお祝いと感謝 町立色見保育園へ

9月18日 木



ソラシドエアから色見保育園へ感謝状とくまモンGO!モデルプレーンの贈呈、園児に記念品が贈られました。

これは、昨年地域住民と草原の種まきをした縁で、同園が今年の七夕飾りの展示品としてソラシドエアの飛行機を作成。見事、銀賞を受賞したお祝いと、その作品を熊本空港開催「空の日(9/27・10/4)」での展示を快諾したことのお礼として表敬したものです。

秋の交通安全出発式 交通ルールを守りましょう!

9月20日 土



9月21日から30日にかけて行われる「秋の全国交通安全運動」の出発式が高森総合センターで行われました。

式では、交通安全協会上色見支部の荒牧久利さん(上色見・前原)が緑十字銅賞交通功労者表彰を受けました。その他、期間中の交通安全を目指して、高齢者の交通安全宣言、飲酒運転撲滅宣言などがありました。

第66回豊肥剣道大会 高森少年剣道クラブが奮闘

9月23日 火



毎年、秋分の日に行われる剣道大会で、大分県豊後大野市大原総合体育館を会場に九州各県から多くの参加者が集いました。

学年男女別で行われる個人戦に、高森少年剣道クラブから、11名が参加。試合の結果、高森中央小学校2年生の興梠七菜ちゃんが、小学2年女子の部で堂々の準優勝を飾りました。

9月24日 水

木のぬくもりを感じながら

木工教室でプランター作り



高森東小学校で、同小の放課後子ども教室（1～6年生）の児童24人が木工教室に参加しました。主催は、阿蘇地域木材需要拡大対策会議。県阿蘇地域振興局や管内市町村、林業・構造団体からの構成団体です。子どもたちに木の良さや木材の利用意義の理解を広め、県産木材の需要拡大を図ろうと実施したもの。子どもたちは、熱心にプランターの作成に取り組んでいました。

9月26日 金

かかし祭りに向けて 東小学校児童がかかし作りに初挑戦！



全学年の児童36名がペットボトルのかかし作りに初挑戦。これは、高森の暮らしや文化を体験できる観光プログラム「高森じかん」の一つ「かかしまつり」に向けて初めて取り組んだもの。『ASO吉見の社くらぶ』が中心の実行委員13名が指導しました。児童にとって初めてのかかし作り。服を着せるのに一番苦労しながらも、笑顔で楽しんでいました。

中央小学校の芸術鑑賞会

バレエの魅力を感じる



熊本バレエ研究所の25名が訪れ、「くるみ割り人形」などを披露。児童にバレエの魅力を伝えました。

年に1度の芸術鑑賞会。今回初めてとなるバレエ。全校児童は、「眠れる森の美女」の一場面を通して、単語1つ1つの動作を学んだり、「白鳥の湖」に登場する4羽の白鳥に挑戦したり。6年生の16羽(4組)はステージで披露し、大きな拍手がおくられていました。

第44回町老人クラブ演芸大会 歌や踊りで親睦を深める

9月27日 土



高森総合センターを会場に、町老人クラブ会員約 250 人が参加。町内の 12 クラブが歌や踊りなどを披露して、会員相互の融和と親睦を深めました。

今年は、初めて 5 つ（頑張ったで賞・笑ったで賞・面白かったで賞・アイデア賞・盛り上げたで賞）の賞状と記念品を贈呈。新企画『シルバークラッシュショー』では、約 20 人が手作りを含む自前の衣装で登場し、大会を盛り上げました。

待ちに待った稲の収穫 中央小学校5年生が体験

9月29日 水



高森中央小学校 5 年生が、JA 阿蘇青壮年部高森支部の部員と一緒に、もち米の稲刈り体験を行いました。

これは、食育の一環として、5 月に自分たちで丁寧に植えたもので、収穫をいまかと待ち望んだもの。台風に倒されることもなく、頭が垂れたほど大きく育った稲穂を見て、児童たちは大喜び。昔ながらの道具を使って、嬉しそうに稲穂を刈り取っていました。

尾下菅原神社秋の大祭 伝統ある獅子舞踊りで奉納

10月3日 金



尾下菅原神社一帯で行われ、唐うちわを持った地元の子どもたちが勢子となって、雄雌 2 頭の獅子とともに獅子舞を奉納。五穀豊穡や無病息災などを祈願しました。

350 年の伝統を持つ豊後系統のこの獅子舞は、県の重要無形文化財に指定され、地区住民が伝統芸能として今日まで受け継いでいます。子どもからお年寄りまで祭りを楽しんでいました。

10月5日 日

高森寮ふれあいフェスタ

台風に負けじと盛り上げる



立正福社会高森寮で催された「ふれあいフェスタ」。子どもからお年寄りまで「障がいのある人も地域の人も一緒になって楽しめる催し」として、今年で25回目を迎えました。今回は、台風18号接近による悪天候での開催となりましたが、有名タレントの司会や出演者が登場。飲食ブースでは本町や南阿蘇村から25店舗を超える自慢の屋台が並び、フェスタを盛り上げました。

10月7日 火

町子ども議会

考えた企画案を堂々と発表



町議場で開かれ、高森中学校と東中学校の3年生、草村町長と町執行部が出席しました。

生徒は「子ども議員」として、身のまわりの出来事から問題を見つけ、それぞれ調査を行い解決策を提案。議員役の17人は、パソコンを使って画像や表などを用い、具体的な施策を堂々と発表。生徒の視点は鋭く、素直に感じたことをしっかりと伝えていました。

10月10日 金

地域安全出発式

地域の安全を目指して



高森警察署で開かれ、各団体から約100名が参加しました。

式では、「家族で作る防犯・交通安全標語」の表彰があり、高森東小学校2年生の後藤啓佑くん（芹口・古畑）が『うんてん中 スマホ耳もと じこのもと』で南阿蘇安全運転管理者等協議会長賞を受賞しました。式終了後、それぞれの地区の防犯パトロールに向け、一斉に高森警察署をあとにしました。

阿蘇アート&クラフトフェア 個性的なお店がずらり

10月11〜13日



10月の連休、台風接近の真っ只中にも関わらず、およそ2,500人が会場の阿蘇フォークスクールを訪れました。

県内外から木工・皮工芸・布小物などのクラフト・アート作品が展示、販売されました。飲食店の出店や音楽ライブも開催。11回目を迎えた今回、初の台風直撃に見舞われましたが、屋内で対応するなど、無事に閉幕しました。

高森幼稚園運動会 かわいらしい園児たちに声援

10月18日 土



町民体育館で、鼓笛隊によるセレモニーから始まった運動会。園児たちへ大きな声援と拍手が贈られました。今回、初の実施となる組体操では、園児たちが指導を受けて頑張った成果を、堂々と披露していました。



尾下区民体育祭 体を動かして地域交流を楽しむ

10月19日 日



尾下体育館で尾下地区の体育祭が行われ、多くの地域住民が参加しました。

天候に恵まれたこの日、地区にとって1年に1度の大きな晴れ舞台。参加者からは笑顔が溢れ、交流を楽しむなど終日賑やかに行われました。